



## 中小企業の助成金活用を支援

# 法人化でより対応充実

## 豊川に「アン・フィールド」設立

助成金活用の支援に力を入れる社会保険労務士法人「An·field（アン・フィールド）」（熊谷篤代表社員）が、豊川市松風町46に設立された。熊谷経営労務パートナーズ（同市谷川町）が母体となり設立した法人で、より充実した顧客支援を行い多様なニーズに対応する。

熊谷代表をはじめスタッフ8人で運営。有資格者も複数在籍しており、これまで通り東三河を

中心に、中小企業の助成金獲得の支援に力を注ぐ。

現在注目の助成金は、時間外労働等改善助成金（勤務間インターバル導入コース）で、労働時間短縮のための設備・機器の導入で最大100万円を得られる（申請の受付は令和元年11月15日まで）。このほか、人材確

「法人化したことで、より多様なニーズに応えていきたい」と話す熊谷代表「豊川市松風町のAn·fieldで

保等支援助成金（働き方改革支援コース）は、勤務間インターバル制度導入後、新たに人材を雇用する場合に役立つ。

熊谷代表は「働き方改革関連など、さまざまな助成金を国が用意しています。ほとんどの企業で受給可能な助成金があるので、まずは相談してください」と話し、「今後は新人研修や管理職研修をはじめ、パワハラ、セクハラなど、さまざまな研修も行っていきたい」と意気込みを語る。

場所は名鉄の稲荷口駅から南へ徒歩3分。なお湖西市に支店がある。問い合わせは同法人（0533・74・3962）へ。

（竹下貴信）